日ベネチニアを訪問したのも世界の職心をゲーリング空相だ に同物が並の報道によればドイツ全相ゲーリング将軍が十四種化策を申むに軍要闘誌を並ぐるととなつたといはれる、甦

けに駆中させムッソ

関値を高める策に出 見に到するニュース 由班にピソトラー総統を前間、「ベルリン=ローマ船軸」の出の裁判を破つて自らバウアリヤに赴きベルヒテスガーデン 員の報道によればムップリーニ首相はいよく、十七日国外不

枘獨裁王會見

愈よ近し

けふム首相出發?

ム 数王ヒットラー総統、ム

強報を裏切り米だ實現し ッソリーニ首相の意見は

時局認識

大分を除く) 純に経総に参加の領的、能成内 が、首相、河原田内相、総成内 は、対象を関連を持ちれた、人類国際下の観光により が、首相、河原田内相、総成内 は、対象を持ち、対象の領別、に対象の

根總體、中島滋集的全民職に湯淺內斯、松平宮相物失官、大村地方局長以下內務衛名開展、權止事

地

方

長

Ê

會

議

舅

か

る

御姿勢を正して御贈取あらせられたと洩れ承る、

器のため三原中の他団北極道長官以下各地方長官

東京市前)天皇陛下には十七日正午地方後国館

設てのかつき」で領路地相成った李清漆には十七日午後四時十五分御入城中の李錦公園妃南殿下並に

重責を並され

勢郎

審 作

^{輕離}綠蔭 重帖

(54)

が成月重雑プロロング なの中

《五葉作寫與鑑 第間 即 素 思

图宫_ 能接 素 素 子子密子概

けふ御歸東 李鍝公兩殿下

三時間の長きに亘り地方事 地方長官に 御陪食仰付らる

明な何下間を採するなど時年の上を思想される畏止を思想される任意できぬの問題を貼ばり極めて超 また昨秋行幸あらせられた北海道、今秋行楽歴信 各長官に對しては

される場下の状況、産業、教育、社館事業、時間の下に適田北部直長底以下各地方長官と劉明に召 において一周に変態を賜はりつつ河脈山内相様立自根が領以下宮内官を特に召され午餐後千種則

に銅磨取、その間炭酸三重脂知事より併勢論宮の等の奏上を凡そ三時間の長きに亘つて一々飼給心 ことを言上申上げるや、陛下には御心下遊はされ

さ人類心に、同は歌歌歌歌した

※ 按 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於

ならない、政府はこの所見の商戦場を以て際民生活の安定 祭を怠らず

外相イーデン氏、縦右チェンパレ

ナウ各國政府

さらって選出製造の他をよったのでは、10つで選出製造の他をよった。 ではの如き場下の縁ができるときへ選がに選ぶたる成米を除たした何でもの状態できる。 では、10世級を戦争しているの外の間勢に関いるは最大の状態とした。

を中心とする外交抵衝はコーロッ | でも相質成果を呼げてゐる經標 水平和工作の金板に重つてあるか。 時ローマーベルリン権機コーバ

コスロガアやヤ月相ホッザ氏の ドナツ各國代表中でも特にチニッ 議師登に聞いたとの印収が強い、 ドン抗節の結果使に長伸民主々

政府の間に紅神俊に全野引し 要別する人間時にチェッコスロ ガアやヤ、ハンガリ、ショストリ 威を作べて英側南国政府の声魔を

ン氏及びッランス外相デルボス氏一特にドナウ関係の組織化衆につい

宇垣大將拒絕す

松水、林正副議世外交渉委員の來。騒野の初夏をゆく宇宙大將の関目 を受けた宇垣一成大将は十七日年、れに到し正副題奏はそれ人、再度、た、館部は十九日まで関行 後三時過ぎ四谷の私邸に東京市館出馬を無請した(葛真は乗馬で武 【東京市画】東京市長駆使の発売。絶するに決論せる高を強った、こ「智、午後四時まで新聞合用を行つ」後人域傳統ホテルに接着

けふ委員の來訪を求めて

稻田代表パリ着 ○天職並排聯合實質長 用並出記 出出中十六日編版

日まで八日間に亘り開催、脱料で 資品は恵と五月十七日から 「ハッ十八日同盟」南國商業政治 十四 ◇高井谷五郎氏(劉郎宮老祚氏)

沙樹氏(軸島理事)十五日位

反抗のやうにもよつびり赤目を人

いて往つた。大きに正確の厦中へ

其虚へ批俊か来で行の歌を置

の手を出する

子を持つて六郎に前をした。

れたものであった。機能はすぐ鉄、規模で右の

農業の地位等の開題につい設定す源金本位能に正潔実際時における る日本代表井上国四郎子、稻田昌 一時学のかつきで東京より弱成大野製技器医夫人・十七日午後上阪中十八日朝路域 天地支黃

課貨物係否記坊木卓郎▲命大田選記中村僧夫▲命同營業主任 齊葵 任同**在川桃太郎▲命營**業祿貞物係 近事務所營業主任 平區廳貨物主

大野總監歸城

祭の第一歩に慶州讃祭中であつ、小林一三氏入坂 鮮卵

ン折衝の結果 リーロンドン機能一か顕著に迷び する所を中央地方を通じ相共に 配着君 元く 政府 の窓の住 総語 君元く 政府 の窓の住 総記 ととで選む 次島 初級服を織られんことを選む 次島 には 面窓 せんれ具て 横刀の割 記 線を勝く 暦氏に 渡 敬せしめる 娘の小照は二十成のふつくしした。せてやるい 長な日元の細つた女で、電磁の歌一ない前としろ、鍵蛇の本性を見 六部の敵娼の緩鍋は二十五八の前 治ってでも來たのか。 人の好ささうな。気であった。共変 器子のある女であつた。 「比越にある者と云ひますと、 一あれが判らわえのか、 猫がはとばけてみた。 川から拾つたつで、何を用か 八郎は、人の女をおろりと見た 協康は近十近い左の頼に大きな の

『石ーあがつて似

嫩

の罪での

計はしての

爭そ

0).

一种で、存て、も

からだ。五六本持つて來い、

いしあがるんが

後出かぞれに駆け

だ解って らつ

お伴れするの

関単は大郎の嗣が開えないやら

ありませんかに 独へ手をやつ

愛い西乙

京話・雑音の追憶 ・和のワッガペナー(機)・和のワッガペナー(機)のワッガペナー(機)

女の念珠

龍膽寺 丁潮 阜 眞

子の

心の

桂東別別

法相

遞相

母の測示があり次いで高田総制局是代理より生産費消散に騙する性、添藤愉泉変蔵館幹事長すり「信慰院院に願する供につき誰郷能用し十時四十五分散態したその態態感覚出席、晩頭林自祖は時局の重大性と之に對きすべき 頭内閣の良念と決認につき測示をなし (音速管の協力を裏部用觀念に勝角相、應新法相、兒玉養・白松大分縣知華庭派のため博上感謝部長代理) 中島憲兵計令 野 松木奈藤県道祖華・鵝田墓北州知事等数々 育想試験に暴物、螺旋側より林育相はじめ奈服機・白松大分縣知華庭派のため博上感謝部長代理) 中島憲兵計令 野 松木奈藤県道祖華・鵝田墓北州知事等数々 育想試験に暴物、螺旋側より林育相はじめ奈服機・ 「東京電車」林内閣の第二回地方長電纜艇は十七日之の第一日を首組電影に開いた、今回の影響に整選事後初の熱議であり歌内閣の抽機する歌劇歌號と時間 **到て正確な認識を脅談を通じて一数騰民に徹底せしめんとするもので尾型平削九時職出奪感認能,脳田北海道長官をはじめ石馬淵平縣知寡以下各府縣知事**

避達が物質の上にのみ偏した結 「東京電話」惟ふに近世文明の まづ文教刷新

(林首相

政治の方面に を前回を題る回原政局の

が乗しり組化を判断して金額に基 をあるに至ったのである。現下 と多さに至ったのである。現下 と多さに至ったのである。現下 と多さに至ったのである。現下 と多さに至ったのである。現下 とのでがは先つ風湿の本弦を 明かにして時代に適切なら指導 のである。

所を水の無魔の結果市芸就任を形

生活の安定と商助元賞との方途の受託して際政各数の上に国に商民民職のを終現しての上に国に商民民職のとに国権の

京北道州平棚で館前は十七日午町

八時半から京家道総督部第二開催

^{*} 股府尹

郡守會議

ヘドライヴ **用總督光陵**

同年、根本談子たった一人の間 南端省は十六日の日曜日夫人を ・競學生青年皆に及び他方とを一帯國の將死を一冊ふべき

で、朝鮮には多しい森林の間を 動形で出職、初夏の光酸ヘドラ行で午前十時後戦台の皆邸を目 視が、州一本いの一谷先寺に指

たが光限では近極不配の個し場

影響員のカメラの一斉射撃を受し歴初、七木、産業、震初、林業警 風光を貸で午後四時過き歸政し一守出席、先つ湯有知事から訓示が 道道、約三時間に亘つて青年の一手、節為陽郷守御め金二十種の郷一

けた「製炭は奉先命の南諸智」「務など全三十傑係の指示車項を上 あつて直もに地方悪芸管十件にか

事務所無務主任 後 通局 典動 地に報答した

顧男一行は十五日ベルリンより富 自由にはならぬぞ ある。若しきいた。 顧の下馬許をしても、戦殺を賦 イギリスはたてい

林門府は国際運動を黙殺して 行音とで通り れだけですよ、山

『あつても、おきまりの分は、 ですると此様は、洒風値でし 見おい、川で旅つて来たの 「飲ましますとも、民趣は地獄の 同それでは、金さ、出せは依古い

能にはるないのですよう かつて、川戦とは何だ。 島はは片頭に選美を浮べてるた それから顕于に 往った。 な油量は富万人かげんにす のたのですより

れは何だ。 の前に出した たのですか、

幼児の死亡 ケラー女史の 普通文官試驗 八月七日から

入鮮は遅れる

人の紀光端向に對し朝鮮人到では「士三、四月版人派の常通知があつ」 學の大意、朝新群、英獻、民城四三・一人女兄三八・一人で内地「では七月十日午後六時轮山上陸、「知殿・行政、民徒、刑法、程度以入、女兄二八・三八朝鮮人月兒」後来鮮の密であつたが、取従の選、添へ本府へ流和されたいと に入口干に到し内地人男兒三一・ 揺は延原に延期を重ね六月廿日前、鶏地の田町村長の歴明に、嬴武を在十嶷江下の郷京宛に祀を見る。 目下各地で大熊郎を受け返行の日、総署は七月三十日まで脚屋形、本

の配向を辿り数心すべき現象一たので本材配荷教育器では健備を減少規向に封し朝鮮人倒では一十三、四月版人成の記通知があつ 士三、四日版人成の沿道知があつでは七月十日午後六時後山上匯、

紬羊を獎勵する

先づ六千頭を輸入

一道に隈なく

世界の果女(レン・ケラー女史は から荒城中県校で願行されるが登上月十日頃か 本府野漁文部試験は来る八月七日

小破したが、更に同夜九時四十八

機械中人換中停留貨山と面突双方 十六日午後一時ごろ龍山野橋内で

鐵道事故頻々

分ごろ平度時間時打第一七二列四十向よことになった

アラメダ軍

観は健康はきであった 朋朝 平壌行き

十七日午後一時四十二子意為。〇、次男舞副(六三男富、興・子)四 止めたが火元季節景(き)の羽山氏 既落のこととで火の廻り早く七頃町一七○季霞景方から出火し土帝

南ふことになった より前嫌上輩は朴高溥、金共元、京城黄金町三ノ一八森麟五平さん。は十四日朝長男の下科教会三年生八時十五分宮場戦闘が飛で平山に 現場を突まる状の不必求の行ってが 大人と上京の形跡 間場を変まりの不必求の領してが 大人と上京の形跡 原はに関係の長男季節領してが グラウンドで全仁川軍と一議。交 無效にも枕を並べて焼死し、季節 部別地で「川に赴き、町はの」「川」女(デ)の四名は就様中地げ迎れて 青雲の志に燃え

和が脱様するなど京徳、京田 十六日午後八時四十分於內永至湖

火元では四名が燒死 たを全焼 村青年間で敦陵に劣めてゐる。柳春楽の七月でいづれも新郎昌禄、孝年方、梁四元、舜一

【大班十六日同盟】十六日正午班

思るうちに四方に数えいり午後三一就を誇る名割も底に念然した。 の北西の曜園に煽いれて火は見る一人に変せるのみで一千八百年 山五候頂山麓より山火誕生し折雨。

現場は水利の使患く火勢の題くま 間の心死の消火の効もなく三時中

ぜ百

日号

謝近火御見舞

登

大金拐帶の家出頻々

百圓牛敬

人は伴れ合って釜山行の別心に釈釈客して儺ふと、十五日朝既に歯 の花輪追替。この所へ行つた形跡 てるた額海々軍技成所にみる复数 あり、本町署を通じて甌瓶方面を

ろ注意教は三百風を自分の机の上ので別観き拠省中 阿東一銀行に預金に行かせたとこ 憧れの京城へ!

沙宮君(し)に五百回を持たせ難動

州下北西五一三金城州(三十) これは一 千圓を持参

見午後一時ごろ慷慨の原城へ家山 双清磐期 填水 田 石(外世) (上下投げ) (上下投げ) 日日日

四の一大二本四題「をほ小四日後 特合権関抗出版所の組入経列前 信用大門通照の七六衛隊ビル

大部 解五 解 : 太京 定観 企設 定駒 師水 水ッ 旧黒 刀匠 イ 瀬 / 瀬 / 加川 川陽 田田 若田 坪里 海岸 田里

お陰で良くなったより

時、天京城地画一の一一二神田初 旭町の泥棒十六日午後一

會

KOKUEKU 益 冷 凍機

□共宿名 野協連令 主動の全益国 一本8 株式會 (本駐) 久

ポ社

全域風龗の傑作流行歌 夢茸トニクの

沙佐崎·近衛八郎·因口開始 T_d

ル。当年

心の想ひ出

。 會協賞鑑# 洋 **等 に し** 日 三

金海森西亚本川 社會支撑 光景致直望

政が賦何すると、失賦に臨島地包を背負つて出る不能の男を本向系

八千頭を稼入するが、第一次の一

七月の二十頭を初め九月まで

- 頭中三十頭は豫定の計機通り

・島の秀才青年

全國の若含學徒の間に輝く一

城大の栗秋要君

ドルー学分死人類することとな

開送に対令剛光に求る廿二日か一がたく、また。 電野 歓及びを政がない。 代船は 景福級 が見がっるのでもの際は三等療扱がよってもの際は三等療扱のが、八角便は輸引に景破起機

に原原経緯度上九地主根総括成方 | ベルギー製器線一挺が貨票不渡と| 十四 1年前二時かし大時までの間 | 警路オンドルの間に掛けてあつた

カリウソ機付のオーバかかけてあすると、姿貌を探まれた部間には

氏力で金時間を捻んたのを手始め京城へ強込み、副側町七四州「黒 に、形内各所の富能方以門に記込

一般に一般と最後 ことも描りず、他人か発売だけを

方に飛んで絵の既在提写に原版上に高麗のすべく目言子家。
「実施」の現本。日面和寺域は八世が、これで、「大変に関せとなり、選二組へいる国台に使用すべく實理を設成、任政会に関せとなり、選二組へいる国台に使用すべく實理を設成した。

げ、京城へ入つた形飾があるので 百人分七百六十圓八十三銭を特遣

洋版を窃取した習自供四十四、金順時間、ネクタイピン

主人がら叱られ情観した月似カン

ーピスが思く関係けかすくない

店工場解方の女給半月他(**)ほせ前二時半ごろ京城間府町七九代は

女給さん家出十六日

立つた回路当成事除の国家と時極一二月子機が務所を出るやその

我に何者かに築まれ、政治しのさ

お人は石地行を自由した外昨年十

未然に、くことが出來た

金剛と興安

のため代記する記録直省から鑑置日より廿三日まで何れる人思修理 局に辿りがあった、その期間内は

助力時共転町の終上で見事に拡配一歩手動で扱入が設計科大規連後後で、を引継へ発作運営の出地を搬入の刺撃に血脱機立ったつった結果、単均総生産二月目の十六日年職に生産工程に対しては扱入破壊と非に強速、東大久保止の二度害に対してよび、

・ 世野治林主代が削減に立つ、脱斗除で過過式と後の即なく会選式を衝動的技事は協力技術と認識の出典を示れ一敗と出めき立ち以来伊から開発では時別技術は疑惑、しかも質別も共に構まれてあるところ

高飛び前に危

捕はる

したので手配により時内各著で

更機関の見かつた事を再び撤去

新町で御用 拐帶の雇人

本社 大阪市電量市岡元町二丁目

工所

温斯

関で行はれ、本局五百五十六、 地戦は十六日午前八時から中央電圧地所といる本年度主急開設電話の

千二百廿四名

るか同氏の育での親大件教授を初 め同大學では同氏の土産に多大な

る総合の無理性的研究の風勢及び

斯得をかけてある 国際は歌生時

龍山騎兵聯隊の寛座二等兵

兄城急設電話

|尚十六||日午後一時)パスラ出線||頻能さ見||明和九年に城大隆越峰風勢||は十六||日午副八時(日本||忠臣(ご))にが、他の一人は生深

平壌、大邱兩神社に

御祭文、幣帛傳達

開催の画の子が投げ大郎の一男が典には副祭文、幣品を

施印州とは、茶様して水原、同日子後本

奉告祭には南總督あ参向

二、ラ十八日回記 朝日新脚社

代合にある東京市大田の勝田帰古 歴界のために萬丈の気を吐いた。

歌にかられ同変成走、同端線では、本馬に夏蘭させたために重導変変とかられ同変成走、同端線に互供したので流伝、等兵は日曜から難揺戯が強く、異と一番二等兵職階囲音程でこがある。残っつつるのを凝脱した、なほ同二番 一番 により (本語) いれて無数にもパラ (本語とない) から (本語) から (本語) にはいる (

前派兵基で架馬同盟を行った問和一飛び込み自殺を企て約五百米引す

信説機制近で重服委のまと列車に一般を聞つたものらしい

石山代議士三年前官院的

京元線に飛込む

全間に関連の関連によると明明に対象を関すると明明に対象を対象を表現しているという。

天氣豫報

時ごろ尿が緩雨水和駅標内の立方。むくと飛ばのあまり十六日深夜目行方提査中のところ十七日午前一 の縦底に努めてゐる軍の方針にそ

樹木薫像一區同日一先づ摩

十日目勝負

で成北 (今風) 地域の はいました (南の地) (南の地) (南の地) (南の地) (南の地) (南の地) (東の地) (東の

平 権(南乃行西) はたがはる

祖原及古

警官音樂隊とは何うです

但し外國の話ではあり革ん

た、享年四十八、右により次記二時二十分、原派記のため、急逝

グラリネット等の影響も述い影響十七名な各番から選択され、天研養が悪の事態音楽時は此ばドラストロンベット、フリュート、大阪前下六千条懸眠の七番とは無するため、近く剛立される大阪

主き公園の音楽堂で林大阪市音楽院長を指導官

カラチに向ふ

に依り株主タリ常性に細胞

腸内が

1

東京・日本縣 小路登町 山口 自 駒車 工 基 川)) 后

ではるなる。 にはるなる。 にはるな。 にはるなる。 にはなる。 にはな。 にはな。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはな。 にはな。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはな。 にはな。 にはな。 にはなる。 にはな。 にはな。 にはな。 にはな。 にはなる。 にはな。 にはな。

安心してお買求

方味の家乘愛萬百 濟經で夫丈

サービスを致し 機方のため似の 様方のため似の 以 身

B.成二, 同金加块二, 信川温泉金 行取調べの結果、平均耐上水里形

学(二)被解白內李島本 三百川

信川淵泉と安岳で荒稼ぎ

逃げ損ねた五人組

五人張つた貸切自動車が億川から

十五日朝六時頃録つて交も信川に

日下収調べ中

地げ出さらとしてゐたことが分り で二百個像の大もうけをして早朝

安田客の服事は逃げかくれする 以野を有無を云はせず本界に

慶北道會

招集日次定

分野を注視

呼んであることを聞き込ん

たが、夕食も取らずすぐ外出し

女ばかり

の賭博

多分の強味に前途を期待

宗、『『大浪、劉孝が三氏『月』か府内滅祖里天五三合精米所(郡大

[國南祖] 十五日夜十時廿分頃

二合精米全燒

南浦の火事

-女の放火泥

どさくさ紛れに現金を盗む

半年日に舊惡露見

猛烈な賣崩し 朝鮮側は無限の消化力で

後山)この数年東近州上来として整星的統領域のをみ ふる財内の電域、 雄二雄器工業のにかに昨年二月後 で儀寸工業の他出て交一つ即かな花形工業がと当した減減の有線ですれば違いが大の財徒をかけられてある料価があ有線ですれば違いが大の財徒をかけられてある料価がある事態であれば追ぶ、ホーロー解除工業同様に対しているが、大きの内にはり度行きない。 るる有線で早くも内部消集者間に生産状制是名の主語交

た野英僧田周邦順には高級野山のため來館する野 力と低質製の有利な好解物のもとに質明し最を時間して 腹が三角液しアベコベに内地市假に別込み呼称なる生産 三に人味ある別取としては内地に於ける際に市慣に対し 田に川場した博子開始工業は現在二丁温で生産制質に四 在海回に遠し鮮内に投頭する内地能に対抗してゐるが 球と琺瑯鐵器 本年度生産割當の評定 燐寸統制にも及ぶ

の十二年唯生派別の統制を決定す 本有廿六日 切締付所で内 嫉妬の人妻

節点業者と開張に局合同で腐敗的 狂言身投げ

より近畿、小部南非常的な動物者が、これはまただも文はの機能は、水単で、内容に助けられたのに対異様は主衆に関しても内部は、いった女の家出人態が強いなく解してむった世界などであって、副語音のて縁つてき、 一番異様は主衆に関しても内部は、いった女の家出人態が難いなく解しのを据よく一国は音のて縁つてきる明確することに後足したが同時 【鏡頭母】春は人傷、螺、火鍋と、高げ数いを求めつく泣されてあるを明確することに後足したが同時 に来てくれないので果ては悲鳴を

に色女をこしらへた様子に鉄道を 職の末、海に飛び込んた人生、前、武智教育の依ち間は、正は商品保 てゐたが、十四日夜も戦場の末、 四年日里金泉安三、住夫が協立外、管に富つてみるのを寄民に、去る

載寧にも

「祝卯」定員一の進品機両に候補 嘆きの落選者

Gまで出張して旅館の前の金融版 され、これによって道館の今野を 御して有機者米々の家宅以来を行 い確認を得て引引げ斉剛路者の訳 型の候補階類組の証拠で皆乃三江 在这三元面に出现了那本家全措的流動を開始、十五日上野路等 問じ一部列列中政党を位列 館者なる六名に加文店と再 五十口グラム三國五十段、四月廿一あたりを焼として沙漠を記せはじ 【平園」物價階級の風は徐々城大し | 原例の敗止は野くとも八月までに 製市場の公定による四月一日に十

水道も悲鳴

光州卸賣會社

宅で夜通し皆妙を開模、金と杯と一次定するものであるなに副談長の 側に有力候補二、三あるも、この 有力候補者は前副額長中谷二三郎 例氏を纏つて直筒分野を決するも られてゐるから結局副語と意味は 中中谷、徐内朝南氏最も有力とみ (官理)及徐内朝(官理) 臭的於 (宣通)の三氏であり共他内地人

別と金とに応期を取られ今度は安一館つて新遊買編の動向が踊る法目 【「「東南浦」研究三和山頭館直上探別と金とに応期を取られ今度は安一館の「決定した、本宮崎は南海湾県でとして「東南浦」研究三和山頭館直上探 (大) とことでは、本宮崎は六月一日、二日間刊以上 イフィー・ラート のとみられてゐる 集金を着服

時的何は六月一日、一日間超ぶに「大印」舞道部の間合せの魔北盟

一度観光したが、附近世家は何れ 三時館8月1巻2月回山西曜里作用鬼地かつたのと風か無かつたので十、途にお鼬……昨年十二月二日午鶴連かつたのと風か無かつたので十、途にお鼬……昨年十二月二日午鶴のにしたが、 祝園はみる間に同建樹を「平望」観念に遊べ、観く館に返

だまではとかったが一向勝も助け - 日歌『玄縁変し 百歩代金ご看版した外、五件の期 | 百三十四を開館したこと報明、匈金一千二百六十三回十五銭の内木 一月州川翼山火命に際しセメント

選舉違反

四名の配立で大部城を向じた戦略

でも人類格であるだけに帰る同様を確定するが、同民は著選者の内機構であるが、同民は著選者の内 道結水催倒の改正につき浴底中でももされなくなり府土木脚では水や側層の上水道も現在の料金では

その後は駄は急ビッチに辿びしな。成然され以来今日に至ったもので

ある、現行転水條例は昭和八年に

とみられてゐる

水雷戦設展

には近の単語を滅にあるこれ水道

韋駄天の力闘快走

惜しや全州高農第三區で卒倒失格

裡里農林校に感激の凱歌

葉、全師と他の順序に第二個に

第三位全局をれに置き第四コー

る - 今まで辛らじて裕一段皆みと地方の領人関戦のためそ物質的歴の雰囲間に最後 かもなは悪家の高値記載しによる しかし以門家庭の謎ではもうこの お米までつひに値上げ

あり武を関ちて直に「位置は上で商 の財務問かはこれ午後六時

近く條例改正の止

道及び府の部門を得て府割にかけ 新原例が適用されることしならら

さしたのか犬の態度が冷たくなり る五年末は既と結婚し天皇の仲も

一世書の地域に近郊でれた。 一世書の地域にに連続された。 十四日間の場の 関情的を提出 縣な火心から本年四月三十日午後、養典祭年の低下紀城運動に合説 家を焼き掘つて質家に繰りると浅 六時頃家人の隙をちかとひ自宅の 郵度連れ場されるので 一層のこと

校課堂で杉岡少位の軍事語域及軍 一時に入世十四日午前十時から小學

艇加強・黒島の二変は十三夕2

[福西] 凱灣門蘭縣所屬水田經數

同女の部屋に来て々お前は古野は 家の定律として働いてゐたが、主 州だ一の用人行機能の定立論質に ま 拂ふか二つのうち一つを避んだ かりするから気の様だ、一層のこ 人の長男が永年の度が毎後の如く こは昨年後大に死なれそのまし同 その二 同部院は画太平里 元 延吉の映畵會(延日)

全州御戦(44)三八分 全州選校 三四分五〇砂 全州選校 三四分五〇砂 全州選校 三四分五〇砂 第三級 (一〇・六年) 東国議校 四一分四一砂五分一 第三級 四一分一〇砂 新三級 四分一〇砂 新三級 四分一〇砂 新三級 四分一〇砂

この父この息子 親爺が女給からふられて

と同意化部類を映っこの文子は十 タカチを動打し、仲成に入つた次、観整部型グリセリン協行川長並『 で見てゐた息寸の英版はいきなり 収穫を接続子摩が処別南は前間里 より虚烈な版観を呼ばされる中間収穫を接続子摩が処別南は前間 より虚烈な版観を呼ばされる中間 がゝりで狼藉

如く七段、八チーム参加して風無 及び観視は直に先級、午後一時日の十六日午後一時時山公然影前を「線に施んだ八選子は號側と共に駅 スタートして 決行 された、荒中「蹴スタートした

全州間戦が留定の大肚平は既報の一変技上の治話があつて、各層選手

歌をなし、武を閉ち山下記報より

第三區 石山福、得龍嶺岡 第三區 石山福、得龍嶺岡

くカーブもなく一番走りよいコルキロ四の直線コースで振るな第二 區 地塚、五山磯田は

世典問題中国一定建造工程

全川」全國北道母子協門主備本一種境學省の間小に全場選手代表は

一日午後十時五十分的天衛里不利。子まで親子がよりで殴打して空笛 丁二、山全文子、元)と哲学に設地 奥爾地に柳東取鵲へ中である

安徽家も同氏の函説によって行倫の就位を保附として織歩せずが角のの観氏のみはあくまで慰が取締役の 比を交衝委成に、げ近面に努めた 際であるが、その中でたと一人野類果各方面にも大型原解を得た模 四人組少年泥

四名は茶生三月から四月にかけ清一昭一間等質せ四、繋髪が毎日形み、七郎取、日下命卵取動へ中の名は茶生三月から四月にかけ清一昭一間等質せ四、繋髪が毎日形み、七彩取、日下命卵取動へ中の名は一番にの懐中から現金人回を

諸氏の優中から現金八国をそれぞ を静乱に奉告の後一同大堀無骨に

州市内を荒し麹ったコソ泥仲間で「宅で爆弾八太時間一個五十銭」路し歌撃の太武優勝謀を振ばした建

引率されて本趾支局を来 心臓夢を 开坂文書課長 晴の本府入り

【平見】十四日前を以て本版文書

警察部長は昨年五月來任以來と一 部長に発展することになった非板 と共に歩いて何事も高下

黑潮 越えて

北田茲次郎

苦さは酒か 樋口部雄

トテモ明るい型破りの軍就調!

(A man)

火満の空へ

前記の時刻車方の物沿に火を放む を所持してあることに目をつけ、 代理話を経営する網線で常に現金したが、同人は心輿廠がトラック

解決に登力して曝光を見出さし

は並みならぬ努力を置けて耐く合 なほ武漁機の難散や多年の簡素の情勢にまで漕ぎつけた

ひとり忍べば の 演 遊 に

三門順子

1.50

所語 計明 征戰萬里

近斷八郎

順子

1.50

宏裁非(短親川曲) 嘉裕周日

OST

須口邪避

スンダ育僧

全州高盟 (A al) 三・分子 (May Al) 日本 (May Al) 三・分子 (May Al) 日本 (May Al)

怯えきるお台所

奉行さん大丈夫ですか

淺暴な放火 虐待を怨む人妻と

「平陽」。「帰き者と汝の名は女な」云はれて、去る十一日午後三時に 「根水袋」」の返馬大県(m)は去 | 家の四棟十五間(八百田)を祭を入り、「動像都選択回還开 | 出かけた際に転下の際に成火、 僅か十五の未亡人 にならうと家人全部が野良仕事

【石川】全郎が理は崇清の一時的

は茂人位で吹むのが 切なことで有名だが 異官は洒路と比喩の …【华遊】朱鄙

- さっすがは朱麗

おかずが逃げ出した電

1.60

ら三人が一番よい



器店にてお求めをご



雄り出た傑作盤揃ひく どの一般も那些人が担任機関系が構造を使けた名詞です。 聞いて限つて路線お祭に召す……誰がもせとお取くお花めあれ!

とわり 1.30 歌行流(歌行流 二港 夜君 霧^なき 人草 の青 港春 ¥f 93 林三個 衛立

1.50 忘りなった。 れの の柳 浅音 君園 草頭 リーナン・センナーを八角奏 ミツキー・松山! 門口 伊爾爾 佐子雄 八のぼる 1.80

明小斯舞 唱圖 田大 さらばナポリよオー・ソレ・ミオ 波止場は暮れて 植音館の 長門美保150 标诗 門口 原部 代子雄 非浦 伊 幸 房 佐 一子結

芳 野。弗乃木將紫鑿 大 楠 公、九月十三日 明治天皇御製 期 垣 正 弘明 伊爾長四郎

1

一日本時れ会社ので、近日本時代を と関連のは独立ので、中日へのようのでは と関連のは独立ので、中日へを子の ・とを毎日日 ・とのようでは、「ことを毎日日

墨南町便 墨蘭の唄

花瓣 小菊

1,50

アカシアの夢

非口小孩子

1.50

林伊佐緒

米国ボーデスト教では、基礎は等

君と歌へ

ましま"

心ひそかに

湖口 那雄

松樹

7 60 日本晴れ小坂勝也 下午行進曲 河村原子 お馬にのつて 高城日田子 お馬にのつて 高城日田子 のらくろ一等兵。 辺 鐵 劇(河道将不つき) á ガス戦器領面 人、相当に結り方の日

新 手索松 阿次 翻落 居酒屋のトラ きもめい

国盤心部

4

さ時雨 戦闘派 の子間 神典子記 野球と相撲四対小衆大の 沙浪 框 節● 金襴

角力場仁義 玉川 勝太郎

さんさ 辞 遠島

羅知山

情の滞電道 Æ, 紀ノ國星 文方衙門 松風軒 榮樂 港冢小柳丸

空想・ザブ・リア

からゆ

きさん期田風世

小坂 原世子 原子 1,50 夢木 の南 松林 品 舒佐

筋貯金の汽車小坂騎也の オヨギノマキ(性変形)も) う初年長 (B東キッセ)

節 忠治 臓宿落ち 洋塚 小脚丸 郷花 新版店人お吉 木 村 軍 行動 育 **治 天野屋利兵衛** 追花亭殿太郎 松區者 學校 井口 郁波四

と唐嗣で徳口の師と

タンゴ 松島 詩子

發質元 大日本雄辯 會講談社

一般は小岩原の二番、保田の二番

価本(M)三氏 強銀光攻、審判佐田(球) 変對補銀試合は四時三分

一であった、しかし上回山出投手度

一等して四端多く、富武の二層打三一題せずよく選頭し、一拳四壁を被

し、なほ過量となり押し出しの一 要手の失気をで出て送に、 続を許 點を加へませて個本と交代の修儀 なきにもった、施銀はこの好機を

每 田小保耳爺蘭龍宮市 126398451

川上、宮武▲本盛打平松▲併設

を雌へてよくうつもやりに成功し 人回には簡単の班をよく打ち

等學校の部で貨勝した会にAチーム、下は實表型門校の部

七人制ラグビー

「記事事」 「は中

日本旅行協會

京

H

影手液ペロル

理想的殺虫液

文房具、骨藿 旭居堂鰲春類

九二

入院隨意

一女 優 二 名川

田田上谷上橋村宗本の木本田 177十世 川岩鹽以德平高宮山

棚越!平松の本壘打

のリーがにおける正概に遵守る方

生化せ、斯人他田を起用して今後

居に打ちとしれ、この虚いりま

前間に断いて、対段が異し無

では背着三四人の人立つてはモニ

安打とこの門場に無死になのチー

のであった。最初、短親にはお打にとって確康に著しく不利

高りが出す、…回出版の最初の「もつ話」と、くま、「し、こ、」のみ、四様走者もハリキアたアラー。

| 町日急烈外に不振であったアラス| 後僅立に合利の遊覧強度があった

が、アラスダ軍の富りは渝く調す ・電上窓時のアラメダの打難を変先の幅くサウスポー山本を立てた。メタの守備に限はされた、後半盤

谷に三郷織安打を許したのみであ

759368421 石野三川高山平延標 田上谷上本田松有本

一方台。川王★昨段一時間三十二分▲二

墨で開催、参加者自名に達した主

|全取り時した如く、腸別か・野上||酸して、ご節に微緩を記せない山

取、三周にも単色が遊聴線を扱く たが、よりスピードの嵐い宮本の三刀存と巡げ三級行して一緒を先 在費手を選して正費手宮本を重て

やかな守備職を販消したが、79 三流国安打、川上左離三記打、歐の好守例など光つて前半球方の鮓(副先で出た石田三配の時、三力谷の投手もかたりな好調、澱葱中山(却つて好順となり、五回二死後途へ投手もかたり

メダ投手部本のアンダースローは一

く宮本も中間安打して一

質 首の関志を指摘する、投手をリー

ながい肌終いの小猫加手器材副監 塵城に手も足も出なかった、序で 好調を見せてある良能も残くその を與してゐるが、雌質なポイント つた、アラメダ原本役手は四塚上 七回、香香加州、思丁、八回、万

朝新主服第十二回金飾少年臨城大

全鮮少年庭球

能に本此器融のメダルを意見した 以資局長、鮮鼠香騰の侵勝カップ 豚質官の供職場術あり滅長司令官 なる成績は左の辿りで試合後騎馬 六日午前八時半から京城巡兵隊馬 泉城區共蘇春季聯合馬衛大衛は十

日京版画動芸コートで開

既)3 舟戸信一(専寶田本俊軸(本暦)2 堤荒

乙班—大塚一馬(養信)2 末房

普成組優勝

入れたので、到島電戦の陣寄そのま

アラメダ 100 京電(先)

000

てみるべきではなかったらうか、

京電に恨みは深し

京 787年 東 187年 第187年 第18年 第18年

成一种國際十

▲賈田六三郎(母寶)5安喜。正人(灣信)3字載侃(熊泉)

馬術大會

鮮銀(愛)優勝

東京六大學リーグ - 鮮銀2本版3教員語

早大雪辱

ダ軍はノーエラーを記録した

星(申風機・

3階(銀幣祭

將

を濃硬、混合は胴牢アフメダの

地面的正立無せられ 晩者の候になる上日 射が強くなるから、

ために雷雨を起す機能霊

か様にして発生した霊門の交は人道堂)が諸所に発生

富雨現象

カシア等は南部内陸は四月の下旬 る、機、神、落葉松、ボブラ、ア 何かい中旬頃となるのが問題であ

雷雨の發生が多 北鮮では漸く櫻花開く

の無視も微増するので多比を極め る。本月は早い處では蛟が出て来 あじ、たい、にべ其の他種々無類学類が整通で漁業の方でもぐち、 漁業は繁忙期となる、水稻の播種。カシヤの花もこの発開く、歴事や

降電を伴ふ

ら中旬に新鮮となり、

潜泉高きア

必ずしも白魚の如かれとは申し

する時、私は、彼女の顔をあらか 夢などに、時々さうした手を避見 めて仰ぎ見て、その概は芳ぱしく

べきで、これも北、う」と示唆したことに始まる、政権性问動が振然を一でもしかるべき対策を開発するや 節電 翻に乗出す無向だから誤影者の方 ・バーギンがこる腰端甲炎家の場 がない なかく

映畵型作者は勿論「描かれた人 口雨情氏來る 十八日(火)六時半

日で「洋変はソナークで食

答をおぎらつて 新興大県の「館 の側の短成の

とあないのですが、に田中

野佐 نز

惰 郎

氏氏

から

本社樓上

に、その他の意では五月の上旬か「び出し蛙も盛んに鳴き初める ギリス **書**: でも

素人が見ると、天女無親な 横光利一 (小手段)

に押されると、伝外、の腰 人の母上、質は、あれで 火力生いしいところがこの

響で握の別花は最も遅れ五月の初

生物現象

| 國際知識以評論 (五月號)

▲句集旅人

見所見花

均衡のとれた変態にあるというの その學者にあるといふのもよろ 鉄脚だといふのもよろしい。

し観照の複新を無限に調からしめたといる氏の製作動向を知るに最も個別にして有益な著書(一個N一十銭、東京市小石川島江戸川町一十銭、東京市小石川島江戸川町一八、交媾社)

(本)と今晩のラヂオ

(東) 元田 盤▲八 時 長明 華山大坂▲七時三〇分線演 華山大坂▲七時三〇分線演 東山大坂本七時三〇分線演

新刊級

そのすべてを備へてあれば、殊 しかし、私は手の指に求める。

丸の内二丁目、日本関係協食)

の御愛用を給はり度此段事情を具して懇願如斯御座候。

和十二年五月十日

フイガン協磨本舗

林式會

社

林

奋

店

京。大 版。名古曼

各位の御承認を乞ふの已むなきに立至り

族。 何卒弊社の 苦衷御諒祭の上、

今後共一層

却て品質維持の途に非ざるを思ひ、玆に本意ならずも本日より軽徴の値上を斷行し

物價は更に一段の騰勢を示し、此の上の隱

のみ置くのは古い。 美人の標準を聴に ぬが、細かい肌理はむつもり

皮膚の色といふ説は 様く淡いふくほの如き添みと、貝 あれば、それは極かに、

関将を切つてくれるバスの女脈

上進古

指弊社製品の儀、 御陸様を以て品質の優秀を改 海緑寒凉の候彌と御淸福奉大賀候 毎ミ格別

の御眷顧を給はり難有奉深謝候。

販路の擴大賣行の激増、眞に感激に堪

齒磨齒刷子等の諸原料

亦著しく昻騰を續くるに至り候爲、幾度か値 へざるもの有之候。然る處昨年來物價の騰勢 確認せらる、と共に、一盆、江湖の御信頼を辱

れて來てもよいのである。 美人にも、新しい肺の鬱鬱

經濟關係の再吟味(精谷香一)一、信地問題の解決(信天淳平)日

想ひて只管隱忍自重し、以て今日に及び候處。

段改正の儀を思立ち候へども、日常必需品たる商品の使命に鑑み、且つは平素の御恩顧を

の内越三は券付出 社本とーローニビ

歯いたくてたまうぬー

吹きで殺虫

二吹きで海虫全滅

七人制ラグ **参正(型)と鐵道(類)優勝** 27 8 19 Ľ 0 日京園

城大ラグビー部工能本社建装の第

質業専門の部 3世界

選前上16

は窓正

ドで開催されたが中等學校チュ 年前十二時から飛山駿道部グラ

23 (815 510 15 家道

西村 13 (0) 0 4

中等の部

田(郊)辻、長澤、西村(巻)四の教き十六日午後三時五分より職【東京売話】 摩擦到帝大二回難は 慶應勝つ

實業團卓球戰

朝鮮起球協會主催、第六回全壁實

斯界の最高逸品です

は十六日确宮城堡で墾行第一試合早大野立敬、慶問劉帝大各二回職 立教一回殿 楽監査球選手機大原は十六日午前

この二大ビールは 原料を精撰して醸造 永登浦工場で優良な 近代科學の棒をあつめ した 12



牛乳三合に匹敵す…の榮養價は鷄卵四個このビール大壜一本

礼會式株酒麥鮮朝

ある、元統は御留守かな」 して几つて、有るに甲要なき物で 誠に湿りが思い、今はハヤ浪人を

佐『イヤ御前などとといはれては一傳『マアさうだらうれ、私の子小

所は私の将には親分ですなり

とも云ひ悄いが、勘五郎と兄弟分

とすれば貴所も矢の殴り子分か

△ 門助五郎さん御苦秀様……是は一分と私と兄弟分になった上は、世

部環関板の細酌ですかい」

此事でせる。大層仲好く話をしな

一放見といふことになれ」 一貫でもです、開発被つて動五郎、

と、同様つて地間まるといかは

がら、程なく飯田町中坂下の伊智

選得左衛門の家へ参りました。

ワヘエ駒五郎さんお跡んなさ

佐『就ては服左衛門郡、貴所の子元郎の弟となりました。

作四郎、今日より成めて伊賀富動

と弦で添加はしなくとも、大陸

研究に一括に行って聞きたいもの

門は陳左断門の所すで、即古

一ちやア、削五郎兄弟分になるが宜

が作しやるなら宜らございます。

ざいまずかえ、然したつてと世所

の弟分になりませる、父兄哥にな一 さんと兄弟子になるのは結構だ、

汝明にしれといつたら、お朋さん一のは何ですねえ……本、さらでご

你 でどうも師既本と兄弟分といふ

でございませう、ア・モれは大殴一分が強つてもどうか願いたい』でございます、何父さんどんな語)の人態の無性と腕前に認れた、身

期でんな理 でございます。 動「どうも大躍さん、飛んだ失國

私のやうな者で「傳『オ・動五郎酔つたか、どうし

父さん、只合行って参りました」

所へ開発内数しませら……へエ伯

る白帶下・腰冷え、死苦へ引づる處女の月經

脚五郎是れを聞いて、ニツコリ

物 【大庭さんに、私が直ぐ元語の

女性の色も香もなく

ガラリ人相を淋しくす

田伯治演 **膵井耕達**

素人で外室にも氣づかれり

密に治せ

る

族本の弟分

価は兄弟分などを作べたといつて 配介になつてる肌五郎が、現(等)プロで大庭さんが兄弟分にな

みません、それを併製は優左衛門

其人の所で底天から足の爪先き#

5かナ…

に、お前さんも是から行つて建つ 佐一とうか元椅、脳五郎般と手前 御年俗を馬鹿にしたやうで声 ませう、なつても宜うございませ

新「それは今私の部分とはいひな 「簡目女さん外ちやアンゴいませた」と、「別位」 たっ エ、別元郎と一緒に……さら になるといふ単は基で直ぐ御抜獅 是は大陸さん、能くお出でなすつは何とも申しやうございません。 一部がたつた、お肌が行くと御用がも、それまでに観査して下さると、た評談の方は……ア、さらか、個も、それまでに観査して下さると、だ評談の方は……ア、さらか、個 りてえと斯らいふんですが何らし んが、大胆さんが是々斯らい。高 な今の新記法の選 とした昔と外部自由 **凩に配いて終生を問**

裸の恥を曝さぬ安直療法が一番

限合野者にも継を属すは発にも耐る生き的です。 て知らぬ間にサッパリ白帝下を治し難らましたによ知られる 気が一回三分番用ないが直で吸いらぬが人際がます実践されているでも別り書きではあなら治したいと布ふのが るフォトン郷で薫知れず婦人の見言を救い返りで手、女性です。内にみで飾る家人能一人夫にも知られる 気が一回三分番用ない変更でいるが代表院で使用する女性です。内にみで飾る家人能一人夫にも知られる 気が一回三分番用ない変更で吸いらぬが人際がます。果果さかなく、穀業婦人要生ならな出が、地にもある生き的です。 て知らぬ間にサッパリ白帝下を治し難やえ下が吊る。

だが、どうにも減わが多いが新越別数フセトン球には越蜀紫八も安全で獨り目を閉つてあて婦人間となる寒にはり勝もどからで獨りで治院をすらく、出来たら感謝金銭の經濟となり外間を设配しく参し しけが治せるので関める。酸量にも質験してワセトン郷に敵ふものはない。 幾重にも確めた薦める
田谷塩婦人科院長
魔博士

産苦を見事脱け心温まり懐妊が嬉しい

のお飯をはづす 機嫌みとれ 選まり 吹か高こけた殿 てをります。 心配なしと信じてはをりますが。 「「「「「「「「「「「」」」」」」」 「「「」」」」 「「「」」」」 「「」」」」 「「」」」」 「「 」」」 「「 」」」 「 」」 「 」」 「 」」」 「 」 「 」 「 」 「 」」 「 」 「 」 「 」 「 」」 「 」 「

子宮卵巣一度の手術で助るお樂に感泣 村井とき代(天阪)

果も一般性が自体を発圧無傷で来た度なか月経齢下、底して出来るワセトン物をすぐ画のします。しめさいき始入突を増して電気を振りを消していた。 一般のようでは、子宮殿の野人でワセトン場に駆泣する既やりにいばらいさいき始入のたい特長あるワセトン湖は、子宮殿の殿、砂泉はにいワセトン場に駆泣する既やりにいばらいのきいき始入突を増して正常な振動後を作る、黒藤・を見て続きである。春は婦人親の部川郡はする既やりにいばらいのまい特長あるワセトン湖は、子宮殿の殿、彼り泉はにいワセトン場は砂路に手宮川来る一番姿姿助頂ごのたい特長あるワセトン湖は、子宮殿の殿、彼り泉はにいワセトン場は砂路に手宮川来る一番姿姿助頂ごのたい特長あるワセトン場は砂路に乗るロールの表します。 處女に安全人妻に姙娠美容を高め安直全快

らに年浴を立てよやらなければな | 何「イヤー~年は手酌の方が二フトラント」 いた、心の優しい人だ、お前のや一つて大庭さんを見さんにしる」

は是から同選いたさら 『おやア、然ろいふ那にしませ

> 人は上だから、手前は何らしても 三ッ上だが、人間が動五郎といふ

弟でたければ往げません』

佐デ、お前は何度すでも行門

一こざいません、勘五郎、汝弟にな

い。エーモウ私は結構どころおア

ワセトン球を動脈にお求めは お求めに名指して断じて迷ばぬい幸福

總代理居 東京市芝區與新町十三 倉融 河原商店 (最香里豆二五〇一九番)

出し下さい急巡します。類似は 効目のお無としてはぐつと安く へ道接ハガキで何日分送れとお 河合即七番「女性の新生姫」

ないのが仕合せの似でする 貨店製品間に有ますお買求めは お分けしまする全国がは、大百 に一四四年日か十三回も楽人へ 郷」と各揖して脈じて他に迷は 「帝大帰院で使用のワセトン

整死する驚異的殺虫劑 切の害虫が瞬時に

家ダニ等

他に比類なり、仮格と液体殺虫剤の覇王ノ

仮格亦住庫(wan wan)

ハガキで結代理店へお申込みの

型動 描したない いただがに ないのやうな キノ ニーハゼ・・・ XOUT Y



智" 勝チフス 騎其他傳染性疾患の養熟に適す(能劑・粉末)ルポンは 派に翻枝鱗の 眼觀的解熱新たり、本朝は又感見るが如き貧血を超さす。 却つて増血作用を有するこう。 貢献 私滅 です。 副作用 緑に 崇迎的 解解 開に 闘争の 解除原に 伊用し、確實に 階段的に 解熱し 間後の菱輪や麻魚原に 伊用し、確實に 階段的に 解熱し 間後の菱輪や麻

ゼル化學工業會計日本學術部より部呈 文献は大阪市東甌武町三和ピル瑞西パー



位力

男性ホルモン州

ダイジナ ダレニモ グリコ ヤレヌ

照所 京城村 (円) 日 (密 取 二 研) 取話長本蜀(2)1566番 田脇野長宅(2)2965番

(領本者んせんごか島金 礼食式株菊虫除本日天 11日文大学中立に、 11日文学中立に、 11日文学中立 11日文学中立 11日文学中立 11日文学中立 11日文学中立 11日文学中立 11日文学中立 11日文学中立 11日文学中 (午前十時日 心社成團。 少。

現日十六日五月二十日 - 五日間 朝日世界ニユース お祭佐七 昆上線太郎 中野かける土海 状家の誇り ロバトライラベニーバフンス主演 領主《九夫婦 小杉月 県発子 最明氏太郎主演 の宇朝正十一般分三十五月後を場合人表示1 州府子 品明氏太郎主演 英語大学なし 時三十分より 品。辨說在一個上班下大小類似人與二十種分一面 目第日活日 紹 祭 婁 日活日港日 館龍京 温 場 削 城 京 湯 ()

圆日活日活日活日活日活日(3)

MISTON



ヒマラヤに挑戦して

」め、野火爆告。

3. [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1]

名劇・大毎ニユース 11,40 3,40 8,15型ニー

2,06 8,40 通复



松竹割舞級作品



翌月世界ニユース 11,80 3,28 8,2



り・然るに今回鈴木博士・加藤學士の研究により更に本郷 は赤血球及血色素増加作用の顕著なる事を確認せられたり エルポンの白血球増加作用の顯著なるは永年期知のことな

結核病者治療上の大幅音

血作

用ある

○



カ政府は國際非常時に爾へ尽軍光。下の民間航客士を統制、一朝有事。しめるに決定、十五日撤軍行。「ワシントン十五日間盟」アメリ。既に確心してゐるが今回孫抵治官。の際に直ちに觀断就として曇さ

米が非常時に備へて

の前側線において言則した。心し

行選擧法の

正断行を決意

地方長官會議で首相が明示

大選擧區制度を採用

ほをとり、今後の軍部職就各一座解散の撃もあるので今後の軍舰が否かについて林首相は傾軍 としてをり、職府部内に鞍部部標

佐藤外相の訓示要旨

政局は依然ごして

でまづ天照天神の飢まらせ給 楽園の御心深く取りせ給ふ

神宮御敷拜に御内定の由であ

本多語が調長は左の如く語話

企畫廳調查官

かによって略々

全體會議を開催

で、経典指導の主っ 生産、試験、原生 のものは契値部門 のの医験組織特量 で、経機関係のも に、各機関係のも に、各機関係のも

して問行際の仕事から着手る

からし 是非第一

[東京計劃]

â m A

その器でない きのふ午後代表委員を招いて 宇垣大將が就任拒絕

結成を見たか

英佛の共同戰線強化

折伤出品官 (地方課長)

節ホテルに入つたが確る 午後六時解越から自動車で入成朝 東京市原証長小林一三氏は十七日

農村關係から?

遞相が斷行を言明

國營案の成否と無關係に實現

に貧内有數の手腕家として井野、一村行ばの版で修改革、龍し「東京化的」農林省が新飲合財館、次長、田中郡省営を中心と「東京化的」農林省が新飲合財館、次長、田中郡省営を中心と

・ 一干リッのぞ 早期全州を経て「より入城朝鮮ホ」(領初取権役)十 心時学元山より入門局長 北郎親祭 節十時間水野 美術學校敬授

鹽野法相訓示 呼ぶので耐服の金さんテレて官を収金なもの皆んな都長さんと けられて発酵▲取るものもとり 郷り楽性に別めてみたが本本人 かつてあたが。本十七日台継げる 朝は郷里の開城へ夫人同伴で

たかけ曜で祝鮮を

振特東京二八六〇一東京舞町富士見町一

illi

心酔令をつきつ

元所の老人か

- 開閉 河那長

全國父兄諸賢!!

月第3

n.e

(12**K-26**)

数の質力向上を闘らる可きは勿数の質力向上を闘らる可きなの難。 目前の一年級時代から確實でと不即不難に子弟の自智復智を完了させ、同時に應用知証をを完了させ、同時に應用知証をを完了させ、同時に應用知証をを発はしめる學生雜誌界唯一の推獎せらる、もの、願はくは絕類情報の一年級時代から確實 に及落の運定めともなります。 水不田來は御子弟の成績に著し水不田來は御子弟の成績に著し東帝と數學です。此等二科の出中等學校で特に大切な學科は

切大が び下さい

中午年前金面古·一个年前館 (廣共) ★定價各三十五錢 在「吃」

高女二年の英語 放性 料型 一十 61 6E

誌雜數・英別年學の社究研 my 三年の英語 **送料**一种

高女三年 生五 上 高女 二年 L 級 Ø Ø 英 數 數學 數學 丽 學 勿 送料 一频平频 章 料 一 **錢** 选 料二十五條 送 一 6

中のあった十六 の個子を射止め りの部屋の財務 所の社会部長か

加月 皮膚科

が、科をとうとした。 東部本局5二四九八番 潔

海外宣傳戦に 遺憾なさぞ期

象目で正報初これと呼ばれた書 と問題の専出▲

社特派員 プロマラア首都臣・ジ

3

ソ

岐路に立つバルカン諸國よりの報告

や併、工協定に對して情報の限を

しい問題を持たなかつた。この小

共に共間の敵を有してゐた、即ちられたものであつた。この三國は レスコ氏を母閥としてどつも上げ の萬年外相たるニコラス・チャ

共に発えるか。共に激びるかの一 歌園を持つてゐる間はこの三國は

約十五年間の長さに亘つ

締結の後、

混亂の歐洲政局を見守る

無氣味なる沈默

宇川内閣は逆権したか、これの

東水助選界から極が引れたとい

質副品道正伯は十六日午旬十二

時で質問記者聞と智見、席上一九四

力號に飛船ヨーロッパ

で行くかの、どもりかである。に引起されてたやうに無傷抗主義

任意外の多面に上りましたが、日本では、日本では、日本では、日本の 地方に依りては旱水害等に依り農山漁村の「振興運動は カツプ

質の腐れ縁を消費

◆B和 (市) 4

の温報 (所)

に生きる

『デレビションも設備する』と

大會に

副島伯紐育で語る



實工 十錢(安潔) 東京原體製幣西 東京原體製幣西

おしやれ

新女苑ヴオーグ(松野)夫

説・機業の花 大田洋子端 ・ 世の花 大田洋子 間・世の花 園地文子

ボヴリ

夕刊後の市況

て命校を一丸とするトーナメント一九、折日は原境極密で行る 全鮮庭球〇日選手權 で入場の信服師、生二龍田 - SE (B)

職盟に統一され、織盟を上催とし

學専門學校野塚は、年股學生誌「含は世二百年刑十号と 部に分れて断を作つてるた。優勝大衛を行ふこっに

世界の女性生活を語る

題であるし、また遊ぎ上げの裏に 附の本人が受話するかどうか いうといる運動が思ってゐる、

宇垣大將を東京市長に撒き

落に政権の外に同って柳であるが。たい。不思議が無いばかりでなく。近まで縁散の深かった人だけに

来は一二の人を除いてはその攝ぶ

・カー・ロッドン事長が一た人物を聞えるのに何の不思議も。道からるかも知れない。朝鮮に

東京市長 宇垣大將と

しては近郊の思いつきである。 のことかも知れないが、東京

使ふといつたやらな場際あい

便雑多枝な事務の外にオリ

尿畿道府尹郡守會議

一年の前に迎えてゐるのである

強更慈義が深い わけで

他映畫から、服飾、美容、 すべてを網羅した、 女性文化雑誌です。

新女売』は近代女性の新雑誌です ひ、女らしい情操な養ふべく、諸名 家の女性評論、隨筆、一流作家の しい時代の女性としての教養を培 説、詩、權威者の教養講座、其

嫩葉心誦

後と「情熱の過去を興ぐて著妄性に思った」 一神近市

人間フィリツブ…堀口 大學

上類や配合とたものです。 として繋ぶの愛用するサキシとして繋ぶの愛用するサキシとして繋ぶの愛用するサキシ

神田辰之助

大時の時間では、

大時のは、

大時の時間では、

大時の時間では、

大時の時間では、

大時の時間では、

大時の時間では、

大

る日來る日

特別附錄● ▲初夏の









はなくとも事業は出來る



大臣を蹴飛ばした人達 政局はどう動く? で、変血には、大村教とのでは、 かなのに、 かなのに、 かなのに、 大村教との東京ので、 大村教とのでは、 からのでは、 からの

書壇合戦 記 ▲新映畫評判記

六日田園養僧の水路で盛大に届さ

れた難ひたつ動師。日母命名は行命、素耐騰に集合嚴密な罪が の本社主催者季願證前的大館は十一つ約スポーツの監視を隣眼け年 大野政府都監治順の大カップ事間 を続のみせどころと続

戦争!女性よ覺悟はよ

・魔行のある美 ・女らしさは何母に

・自然の選挙に背くな ・マダム・キューリーの話である

わが電

王 冠の星と呪ひの

マテオ・ファルコーネ

BOVRIL

二重のきゝめ

痛み痒みを止め 化膿をふせぎ傷 を早くなほす

の爆布より人利休とその娘風水渙・まる人地下の若鷺

んだものを確の健中と四個に人

尚右期間中御買求めの方全部へ

販賣店

にて即時

ルナデーを

祖(二十瓦約五匁

進星/

ひ申上げます

よい薫りの永く保つ

e申込 五月末日

六月上旬

の販賣店へ御賴みになるか又は直接本舗宛御送り下されば カ大ールの効能書 (空函は不可)に住所氏名を明記して最寄り

一本當籤の割合にて

き防を病る入りよ口 るすに快爽を神精

飲食の後 倦怠の時 人込に居る時 懐中護身薬カナー を是非口中にせられた には 勞 の三三粒

定

價と容量

子里

各位 御願ひ!

御途付の程おすした。第一右の如く第二 者へは全部大リチナル番水大瓶(貮圓)進星濟前回の大優待は四月五日嚴正抽籤の上御當籤 願ひ申し上げます回同様効能書御取まとめ回御愛用者大優待を發表 の致

上上

朱钿

講義、應用▲廿三日 婦人服ホ廿二日 女兒服、ドレス原則

の骨質「百五十名限りの骨質」「百五十名限り

御紹介した際に思ってふるが、でもある。女は大和久氏竪神一番に出郷せる山北氏の根属は、一合かは振駒に依る、不利な平手番

スピード昇進の大和久氏

近〜具體案を練る

ド時代の要求

兩道の水産協定

委託販賣から遭難救助まで 海の實庫平南北の躍進譜

委形的質については限令側かに自一一般視眈を緊急ならしめ、殊に平一されてみる。 **・ おおは別人と鞭も項官を與べ合め、てある新川、強実の河川に於ては、の将来は統を強使するものと期待。操法を元素資利たる三百十十六名組料離離の際の劉助方法について、とになつた、なほ道の境界になつ、の水産網帯によつて本道の水産業。継続用ポンデ操法、自動電ポンデをはかり継段の密較が射齢にされ、吹に對しても便宜をはかり合ふこ、すでに先月質勝されたからこれ等。分別 行継、自動電ポンプ 分別行**

十三萬圓を投じ市街を貫通 我の手から一般功勢者水脈梅耶部 明から雨は烈しく陸り出し寒さ加 はる中に設定をなし新く明れ間を 殿台浦が祖はによりが行、この

の結果の傾向によ、微粒するとなれば変音によって由 サー戦師問題はそ り此らイカナゴに 勝び手象 翔を に上風間に及ぶイカ に階揚 げした 云之」の 様項に上 た

植擬《光放水画書》 【仁川】 南南東衆事生れ州内松林 たほどの頭のいゝ男であるが形成 遠大な計畫 娘と結婚し 財産を計取 ないが京城の飼料域の家で書生し 川器域に採知されて十六日夜側用 てゐるうち園科短節の気状に取つ となった、彼は普通県役も出てる

||転産に目とつけ先づその製金用類| |上でゐるうも花水町五六金元素の

南浦に漁組出張所

手敷料も徴收

兩地の取扱業者漸く手打ち

當局の認可も受く

則一八一個科修金観点方の代診を

(展刊) 十四日午日十時から即 夜前鈴木理事りが囚保護事業に を発行、宮崎四大門旅務所長と野 いてそれと、勝頭あり金山下鉄数 發育工學门

職州支部

保護委員橋田秀春小三十八名安土師忠邦、即議員三字章天外 七三名、主事洪曹港、李兴平、 七三名、主事洪曹港、李兴平、

撤車局に密数の割

· 查世、八者重要物、慶店物天 改良、姿作改良、自給阿科· / 查案 李、定指總匯品評會別個、產業

H V 367

十三月午町十時から落成式を行ふ事務所は今登前梁を終へて来る二

太陽レーヨン會社

福地工業部市として工業 | 守台間で間付近興委追納を開き権 | 令状態改三百五十名の内留場た 内地の産統から逃れるため 牛島進出をめざす

図の東端の太陽レーヨンが完込ん。 観光期のか及能感方欲と生活戦略、七名(迎刻二名) 部散不動者三十提列が提明されてある府に今回大一郡守の宗教がありて協議に移り従、小學校々総に必合したもの百八十 ンは就長田村駒大郎氏、資本金 期・時半時代後した。 廿八名で九十元の好成職を挙げて來ることとなつた。太陽レーロ について総議に左の通り決定、午 三名、無所と参考三名、配選字書 保護和側門及談底方束 本上1の保護和側門及談底方束 本上1の保護の対策として、初等現状及が上等が収めに対象対害に加へこと。本質行政、質公田学工机(代議和側側行委員會を合農行、依護和側側行委員會を合農行会の経過数の変形を委員として實行を促すと、明確成事令の

英国の大資社(内五百萬国が込)

對京東の試合を開始、十七人對四十日目は十四日午後五時から高國「水原」賞選訴は聯盟リーが龍の 水原實業野球

る優に療治の百

京東 436211 A 174

1342年前中京記作出

「水原」郷軍分館では十六日午町 全江華陸上競技

6P

9

粒

肝

湘

▲野永珍氏(京漢道位権以)常選 密援のため十一日本社议山支稿 市仁川及開長・北麓原祭を終て十四月紀日

音楽が館を兼ね武権競技師を開催、六日午後一時から流江神祠境内で

「永台浦」郷山の緑田分館では十一

部梁津郷軍の催し

て数く一粒肝油ハリバの時代です。それは二三年前迄のこと、今は微

れた環境にある方はぜひ服用して下さい。 の丈夫な人には近寄り得ないもの、密閉された宝 日光の少ないビル街、歴境と煤煙とに閉じ込め



DNIN 的らずまくら渡む八十丘星「火雪もまつ」(別なしてある、一」は十一葉あれば子金の質はあるが「日本版ステイヴン・ロバーフ最【大郎】春の想かい光が大郎はそ「機は一週間も前から形をきかして」してゐる有様である、故障窮認で「路波人助演ARKOラデオ紹特(大郎)春の想かい光が大郎はそ「機は一週間も前から形をきかして」してゐる有様である。故障窮認で「路波人助演ARKOラデオ紹特 によいでた。で発言「小者の水不足を懸水しょう。」が、いっいつである。 (1947年の水不足を懸かして終門に受ける が関う地方でも触形を観し古代語)今のところ脳は腹作動に影響はなったが、(1947年の 1948年)の際に「夏海県の水不足を懸水しょう。 20 いっいつである

主催の下に同日午後一時から本願

专高理山日露流習帰記)では傾合 富るので永貴神師教育宗師(本願に永登神)十七日は穆承宗蔵れた 水登浦も賑ふ

跳上る延坪島

無人島に忽ち膨れる大世帶 無電も頻りに活躍

|売し現在合批自三十面を偏い放送|| べく工事中の爆撃さ十二日から書 | 集中せる極新は帆射九百数で内地 占むら五十八斤で観撃着巨二十四|| ら見込みで生れた仕手中五頭が突 | 問題き短短無線電信機をも認識す | じて来たが、それによると同態に | その飲食店の序数は締数の四層をが生れ本年中に既に四、五頭生れ | し野便賞替事務の取扱いを開始し | 度な総督を試みぎ坪島の近洗を製 | は百四十五戸で入口四百四十四名| 春二十七頭、本年三十七頭の仕羊」人目から同島に臨時出經所を開設。盆り間出經所では海州本局に對し、全宮で込んでの臨時移住着の中盤、海洋かり三十頭を輸入、その後称「鬱蛭が夢の盛漁朔に備ふべく去る」同無難電信が所取扱いの臨時きに、突乱散撃が脱五十人による、環境が震戦半三十二頭を輸入し昨沿は「匹が州」海州戦時后では湾海の晋(信耶府の取扱いを開始してゐるが、人百五十、朝帥人七百五十に建し、 郡北京陸師では一昨年十月一流。河川)本町の南城北半城部に川 忠北の試み 極めて好調

飼養試験

で操想されてゐる。

時からさにはる発育の中に発行し、際に黒山を恋さ書加育明祖は水町生の十五日午前十、製灰に流せの修一熈懸然が書の励かるの本のもの大切と各切等に、近日は同語のでは、各切等に、近日は同語のでは、近日は同語ので

技を競ふ

壯烈な聯合演習

水原で舉行さる

記に聞いたので近く其機制設を納

春雨の中に

硬な実記もあり本町通りの福町域 開雨部を貫く八周幅の新道路を観である瞬前通りと大正道りの 同道路は将来宮曜市出の種類上

不適で、危険部も時だしい状態に要するもの、四行路としては至く

祖その他の比較的スピードを

一四間の指負を有

初の繁煌を来した府では能力の均「騒である、その心理が底下一戸四部後の實施などあらゆる方面に事「五名、維発底二十戸、五十六名の 迎を用するため瞬間の歴史と人中 **釜山】行蛇は蝎の撮影と市街地一名、次は将理時の三十三百百七十** 十二名、智雄三百十名・劉戴揚四 獨樹金は約八百歳則に違した同面

解析、上野内佐郷は、砂書館は「中四名、船具店上一品三十七名で「許することになった 八名、智生に行六名、原真屋に一では梁を購入して極度者に分配数

る一海州局臨時出門所は続於人名で豊富の総増に行たく人

街中大脈ひ

四公部数で建築と歌師の夕を版々し の学院域台主他の下に光づ十六日次 の学院域台主他の下に光づ十六日次 のでは各部 く細し、十七日は四本副寺屋内で 路頭首あり、午後一時刀い師武宗 ★を練り歩き午後四時式戦を行ふ ひを配し夜は公信堂で城大佐園教

機の講演館あり読品記さこの日の 財富の政治を選尾し各種がお母を配 た有志は去る十二十年後一時から一

ることになったが原情事項と原情

水登浦の諸懸案

委員を選出して當局に陳情

一舉に解決を期す

兩高普交驢庭球

▲皐田公州地方法院検事正 同上 へ、十一日份曜田琛的 一日保護田琛的

シネマと演劇

難能 【仁州】十九日より三 は同様日進夜二回上映▲京城日報

節、高澤康子、孝三用 ・ 一京・一郎、高澤本 大塚宗三 と表定、北海道まで飛続するか。 題を兼ね相側の原域製造が記された。 と表定、北海道まで飛続するか。 題を兼ね相側の原域製造が記された。 日本中からは新に表側遺伝が発した。 日本中のらは新に表の選びを指摘の発達を用る関との実施を指摘しています。 これに同様で降離な用る間との実施を用る間との実施を用る間との実施を用る間との実施を用る間との実施を用る。

内地視祭園 北東原 一大川 忠 では二日間である

大邱はもう眞夏

早くも華氏八十五度に上り

氷屋さん店開き

で参加あらんことを指記する

の第七回全工総路上競技大幅は新 陳る五月三十日午前九時から市 江福 】 體育寶王備本社支局後沒

とになった、申込み期日は二十八

成りで簡数は一問題二回(但し

近代化せる一粒肝油をお繋めします。結核は呼吸 人も永く飽きずに喜んで服めます。 豆大の糖衣粒としたもので一粒が

呼吸器の… 弱い人々にノ

層肝油に對する認識が新たにされました。 たりヴィタミンの研究が急速に進步して一 ら議論の餘地はありません。殊に近年にい は稀て、それが効く効かねについては今さ め、肝油ほど昔から殿く用ひられる保健剤結核に罹らぬやう、呼吸器を丈夫にするた

とに対する防禦力が鈍るだけでなく、一旦感染など上皮組織の抵抗力が弱くなり、先づ呼吸器の対抗が弱され、疲害激、腱炎激、結核激、なの抗疫が弱され、疲害激、腱炎激、に受け、失声、熱震をして、して、大力・放け で補給し外来の病薬が財産量めてをくことが何よのはこのためで、まづ、ヴィタミンADを充分のはこのためで、まづ、ヴィタミンADを充分 り必要と言はれ、この目的にはいつも肝油が第 ります。結核の豫防には荣養が第一と言はれる すると、病菌はどし!~勝力を掘めることにな

一に選ばれます。

各方面かい多大の「て議合した結果左記の頭り中台世間的大であるため」者、及び質問者と十三日腹を交へ り頭管測財界及び、々しき問題となるので、その恩の 商店街に及ぼす版 ことに願し組合イカナゴ取扱ひ業

【蘇南浦】生産五 | 漁製組合で『定められた地區内 | その筋の腕可を与けることになっ 便宜上植物镍合所即に鎮資市漁 カナゴー队に五銭の呼取料を留

> 興委員會 江華郡の振

江地一地では十五日午申ル呼心 威興をトツブに清津雄基 出場馬數百三十頭

《戲與 六月廿六日、廿二日、山 八月、七月二日、四日、四日 《佛鄉 七月廿四日、廿二日、十八日 日、十六日、十七日、十八日、 日、十八日、十五日、十八日、 日、十八日、十五日、十八日、 日、十八日、十五日、十八日、 日、十八日、十二日、十八日、 日、十八日、十八日、日 報部の準備は建程通り進んでをり | 「河川 | 一郎氏報、北神版初の公| 記日間で開催されるとに
につた 長小松榮德 模擬召集 水原郷軍の

八時を期して模擬台集を行つたか

本社支局の後援で

三十日盛大に開く

がのため 古代日本社主権支局衆党のため 古代日本社主権支局衆

トリした嫌な油を考へられるでせう 肝油と言ふと……あの腥いべ

曲が良いとは知りながら最用を躊躇された方にこ 三四粒、鬼くなく、胃腸にも障らず外の肝油に相當し一回一粒、一日虧 めて高級な肝油が發見され、これを も濃厚にヴィタミンADを含有する れまでの肝油に比べ幾十倍から幾百

五百粒 十円五十銭 明店にあり百粒(幼兒三ヶ月分大人一ヶ月分)

東京: 大阪 H 邊 商

店

事務の繁忙に備へ 制變更を斷

同時に人事の刷新も行ふ

釜山府幹部が準備を進む

各面でそれと、物はに真然を紛減、選校是問題を開催、指示、本語、のため面内有能から義極重を望め、時から郷贈館職題で環内公立初等

(可認物便郵間三項)

痛まず・しまず・心地よくキク

奶

誰

彼

0

間認

VZ

ŋ

4

5

L

0

で

每

朝

大

號八十九百五萬一第

₩j" K d は ある 時. め K を 3 办 E 0 打

ある 目 は? やう 清 17 め 打 $\langle \gamma \rangle$ 0) VZ

手間 齒 gy" 1 齒刷 · () 野 () グ とは 子 目" n 7 切。 P なら な 0 E 12 0) ゆ

京

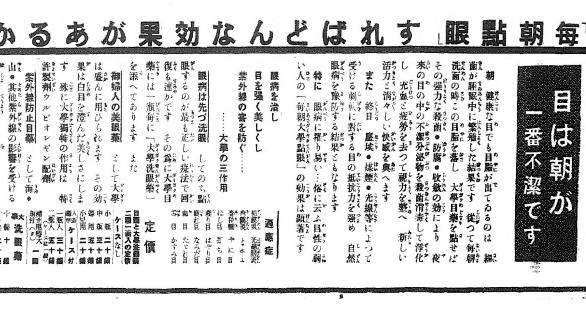
とす 目 7/ 一般間· くら 美 0 しく N 大

いってい

類毎に「大學 藥。添附







腰病を治し

2 To AN A PLAN

場所で籠用されて居ります は、できまりの影響を受ける は、はなくない。

世中學大 是十一 第二十 第

活力で消々しい快順を奥へます たまで、ほぐ なみであれる。 し 光血で変勢を去つて麗力を整へ 新しい 洗面の時この目脂を落し、大學目薬を點せば 変が睡眠中に繁殖した結果です。 進が睡眠中に繁殖した結果です。 進つて毎朝 動が睡眠中に参加した結果です。 様つて毎朝 のでも目脂が出てゐるのは 細 受ける刺転に對する目の抵抗力を強め 自然 また終日を埃・煉煙・光線等によつて 健康な目でも目脂が出てゐるのは

10 mm 一番不潔です は 朝

窗北阪穴 社會或株堂天麥 建党の旅院で十六日午前九時常山

開脳検事局の手配により

谷代職士上有宗明氏(こ)は選別 東京電話一高山梅第二區選出或

工倉代議士 選晃違反で拘束

野及龍原と共に改而の充質を はかりついある京成消

が多くなり真一の単合権が指示したものいこの響すらかれる。

果が活躍に行はれたかつたら

消防器か言心医性の結果

することになった。 出来あかり新駅の威力を放車 オード三大年型、栗貫六名、

時別は太平通り下水溝の土質の中にかくした事を自供したので観知

高公田西殿町四二幸成る芸は昨

花嫁さん家出

州營住宅の増設や

住宅組合結成など

五十平方米の原制弊理事業の完成 教授町一番の二千三百六十三

登浦町一番の五十二百二十三平方

受けること▲住宅組合を組成し を受けること

第一級に興出す版の削哨級文部省 (1、100+2)の進水

う敬へるか、玩具、家具、お菓子 子供の問ひにどう答へるか、 これはナーにっ

凌風丸進水

この事故地の事故子供無温。 これをさいお求め下さい。三十五頃。 たさいお求め下さい。三十五頃。 干局に至り最大な海洋和泉駅前の 【大阪電話」南洋ラナ島から北は

今日の問題として火が盛じられて一火の手を防ぐことくなつた り現状打開に音風中で

結成して國有地の安價排下げを一府營住宅の増置、▲住宅総合を

容態を氣遣ふ父親 ひをしながり孝子可帯年職単帯所身、新物の機能帯半で豪華の手幣 不慮の奇臓に遭つた阿永昌行(で)

四名かに振を切ったが、神平、同久保内忠貴・・・)の明名を難事、、明り、勝来を明符されてそのか、の朝韓宮城を強づ中、不良地平、け付け京士は今飛行太田金雄(元)、曹潔・海人を同君の手になって観れた職者にご明を成かを顕著しの書名語話の供は釈覚の収録は、行中二、三名が同説朝、なつて観れた職者にご明を成かを顕著して書名語話の供は釈覚の版のの朝韓宮城を登成するのが、中で、中のの明韓宮城を登成するのが、中で、中のの明韓宮城を登成するのが、中で、中のの明朝宮城を登れていたが、中で、中のの明朝宮城を受けていた。 騒然士部背配町高砂部銀に深っされた上部間にされ駅面開帯手足。松は非常に選ぶ。近龍花歩歩代か風湿西 十七月午町零季半路。年職末鮎剛水部致よって後期きに一ちは見のやうに観されてゐた。性 名は瀕死の重傷 の素子をと呼んである、交別は世 の素子をと呼んである、交別は世 であると、東京かしの行 から搭通して来た五幡型はモータの高温は三工事場で作業中の各人で 轢殺さる

前八牌的波江广地的一年 汽笛が聞えず

者直隔離城部で活版したチャンピ と翻った、資産事の中等道域の明

オン柳水一巻では同様のた

か同日から京城大連に急行足 れるはずで、遠からず真長の窓

一圓の時計泥棒

順品は下水溝の土管に隠匿

鍾路署またお手柄

人街で捕まった

中、十七日午後七号中ころ扱入が「大阪破ガを願ひ出た 奈茂福着も増発士三名、碑跡「中、十七日午後七号中、今日十日衆した影響があるので巡」域に採録を開発する東京の「東京大阪・中、十七日午後七号中、大阪・中 の中島武国光ダグラス機八人地をあるが完成が遅れるので開州学校 東二野歌と東色で、京原文所の統 銀大衛國光號一〇春空年中編成で京 能人私等使用する、これ 能力が美に肌 AT雑ダグラス機の製作を記ことになり日本宏修本社で中 単地川が送川可一丁目。〇川市西 隣山田舎では土二

際けてある顔繁樹にまたも御手棚。 内西小川町八七先に自城心を置い。のケースを何謝かに探ぎれ渡くな。本年四月旬の質家 開版に作れまつ。単微なら来いと片つ始かい銀八を「紫欧定郷山東仏(よ) が領大門器官」に時間五十二億人り時似二千前位。んごもと相思の仲となり正式通址

上庭環境大門通去子目明時で附近の安坂民が底に立谷った隙

親子喞筒自動車 城消防署の新威力

これなら路地の奥にも

平氣で出入できる

脱込んであるとそれとは知らず!

出人する事質を同業以が確如し くやつて来たところを即用、

畑鬱のなら

る韓山は昨年頭が地方で株会派に「韓山の身光照像を使したとこ 名を経式的振金板の語状で引か 吉伽松語社町吉山多林治で、の雨 四根云母口菜品出表(是爾山 取調べを開始すると共に大阪が共 S型けたが 所規製では 同人の 所在 職まし海地器から得名学院 開地方で腹三面面を横貫、

附を引渡した プラーニー十七日来同の前世署級に同人のお らの国音を載したもので兩首

船銀、吸引局、本府の三チー人に

より十九日から鮮銀コートで行行 院質量造域リーケ機制法に続は

消防講習會

修業式舉行

くった 西貫橋にも似合は | 自頼車四部があり他人類の品が一四新町用達成の主人公 | 總記され家宅捌ぎてると、問題 自轉車を盗んで賣る

(別等で開催)であった公路

けらの天氣



詐取した株屋

一人を発行、修業者六名に罪 前の時間神にたり組土を大問か

なる機関し、情には

(一と力強い調がまなした

決勝戰 十九日から 鮮銀コー

七郎吉良男堅近二





人衆を脅威する

宅難を打開せよ

論喚起の聲あがる

たが、午後十一時ごろ総能した

果京大相撲夏場所成績表㈜戀

金を排はわと 殺される 楊州郡の事件

町交発館の崩潰事故もあつた事と る事になった 安保では取日前本町器質内の武器。位原な建物は早急に要響 わってゐたためと朝明、無許支保 領集造つどが潜代を掘け山ので主 八金と喧嘩を始め主人金のアッパ 別針原西屋金融成(ま)方で答の 。奥如三川ほど的語し附近一帯は 四旦中的一時ごろ揚州温暖で 料理場が崩潰 問題量を起し継続した、 、武変治学学業さん方の特別国 八車より強 山一時四十分月份通,前 馬車挽の喧嘩 証義的大騒ぎ 列車を立徃生さす

十一日日勝負

女子 の内地へ通知する 大町四子は二十四年車終點より では、人と血液を入る。 八十六四京中部路より

十二四時九

南大門近一丁门 命 珉 凶 院

本 果主文附最買買入

大學 生来費 系度敬助、 原大 等 友 奇 共 两 節 順大 等 友 奇 共 两 節

近指記ノ鼠物学島手札型)

清二間シテハ其ノ地域ニ問シニ版学者ヲ支給ス

告に長り待に受加にて内**吸す** 機増料金は前続の単山間**機関**

デ三回ヲ支給ス 地営青ニ対シテハ採用ノ際制服ヲ支給シ爾度作月

人植得秀ナル者の對シテハト信し側達文給スルコトで給へ在捨五選乃至い居在道とス

央質線型技術宿舎へ收容シ毎片円拾五回の至五拾

| ※ 豆豆 解内

は「担従ノ母力ヲ有スル者。」と、「母年別衆所又、學校政行ヲ終「セル者」と、「一十二後以上」十七歳以下ノ者

阿國日系警士募集

花柳病專門

日光在根据,伊姆斯河口港京

翻城の整定であった 〇

ロッコに

#総、豪政語の住宅館で手御足伽、急端な人口の場面を来し昨年秋以 #総、豪政語の住宅館で手御足伽、急端な人口の場面を来し昨年秋以 地の胃め害に忠補な事ひる。 水売館ご作まえ巻で。

にしてある矢先こんとは情景リーマン大衆を完全にグロフ

各方面から打開策に対する刺論獎。方供家排底を見越した家主!!は健財得問題を惹起する淑力まるとし、から統み注宅難を掛けてゐるが一

永明に入り新藩孫屋の手がへこと。 僧の高縁から宅地職を指来し続く

来元金に作家は挑成。そのまく結 によう土地理総の貿別が瀕しく地 番泉の上版制線の如く能名用助耐 | 容人は五十名の優秀新である

ない機能である、既に市飲地能能、民活船所及その他経典が三百姓名工事中のものも巡抄はかばかしく。文部省的財政大き川東大教校松

家屋に手を染める家主連も今春は一式は我華麗る十七日午後二時央庫一あり次いで服都文相代理の鎮静一

文師行動財政技・清川東大教技・松一年の一大の一大郎は知力十六ノット、吹り変通の財政技・清川東大教技・松一郎の一大の一大郎には大学では代別版の「内、支宗を切断すれば凌風鬼は眸」の「大学の一大の一大の一大

放任すれば新京の轍を踏む

計算問題を惹起する深かあるとし

月京城府は行政區域の歴史により整か放たれるに往つた、昨年

このドン底に迫ひ込み、毎年解水上げを旅し下樹サラリーマンを明 間提出を好断に人は他に来に出り

か呪した住宅職の二の舞を演ずる

地視察の青年團員

のではないかと懸念されるに至っ

玉 衛田 (たりの) は 大 湖川 内原田 (たりの) は 大 湖川 内原田 (たりの) は 大 湖川 内原田 (たりの) は 大 湖川 (たりの) は 大 湖川 (たりの) は 大 湖川 (たりの) は 大 河 (なりの) は 大 河 (なりの) は (なりの)

相目

硅父

泉

何の基本の

邮照

問題魔士志願三就ティ異様無ここ付此ノ段及向高候

太明明元(日本書)

月日

ζī

[E]

某

Đ

他の第一回朝鮮 船におけ

欧米·支那·滿洲·各與軍事……本誌時報 自耳囊中立宣言……本社調查部 支那を繞る矫外交戰…………本社調查部 三國干涉の吏的回顧……… Ex*** 古 坡 胤 秀 遠調整の4月現化……… 國の轉落と對策…m要要 日蘭協定成立……ngka 電流

Ridimic Cook の電話本層もOI Name 小林又七朝鮮地圖部開版青元は(型録進呈)

聘招員社 明治生命京城支店

第一生命保險相互會社 京城府長谷川町二二 、希望者に勝り込れ布台日通知一、静内が地址に可

特別等人 京城本司二丁目・女市芸佛楽所・五日分金参照也就明書無代進星ではす廿日は最悪で編由全説す

際致度機関試験ノ上網界圧和成度心要貨類相様へ此、基礎

华华

Ħ

星

外務社員沿聘

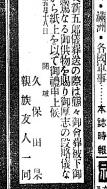
一名を増設し翻設八名の堂々たこ師 (日本時間正午) カラチ川酸

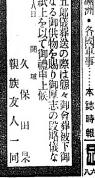
題は印悉都時十七日午後二時元 カルカツタ潜

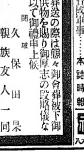
桃、黄桃



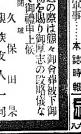


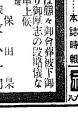


























十日ごろ發表の筈 備を急ぐ日本空輸京城支所



の神風観は十七日午前八時三十分一に記者した

カラチ出發 同國 朝日新州社

十六分(東京時間十七日午後





















いか、り一行中の宮城府孝子町帯 へてあるが歌先の軍働である いけたトの突然細刀橋のもので襲! を運めてある、危機社は革命を取断にはそんごとは知らぬとはね! 他に連動者あるほど女で且下機軽 重傷の柳君は 町名通りの孝子

父の秘密

で出て行つて、

最地小劇場に小さい新劇器が、

あ、養板さん、どうして配った



その眼鏡の異の瞳は動じなかっ 「えい節ります、数方、一座さん

断話刷一小さなわち」 同九時

西中野虎

命の育忠祖一同六時二五分

親解さればしないかと思つて、 あるのに彼女の差は見えないの

同六時二〇分(東)、孫部議選(十五) 限被講話(終) 中根間七時一分(東)朝の修造 六日(火)

英美のあらばれるのを

可行は、健かに確に使っておい おい、まだ東ないんたな」

が、然つた秀吉は原質を與いいと

、ろ手柄をたてゝ跡のて来まし

鮮に渡っている

ころか、三浦守の領地まで取らば

許しません、波多三河守は何とか

秀吉はスツカリ機嫌を思くし

が通れてしまひま

した中にひとり波多三河守のみ

數字にした朝鮮

たり橋木マと

城の中である場合

BOSC

彦は、除すつば舞巫の方は見

したが、一般さんに便、あの一の事をしたやうに耻ちた。 午後零時五分(城)歪

いりしておけば宜しかった

厚く御禮申上げます

お陰を以て

レート化粧料品質の比類なき優秀性は

御愛用の皆様

何時も乍ら御愛顧を賜り誠に有難く

皆様の御信賴を蒙りまして

の御賞讃を博し

して居ります 偖て皆様

既に御承知の通り

諸物價の騰貴は化粧

華育 清建中日 光山三日

京城支店

条内所 平域三中井·安東大和橋 ジャバンツーリスト

新 釜山商船組

る様に軽金屬が

港大軍事課第2

は、航空機、自動車を初め専ら械械化部隊の充實を企圖するもの か鋼鐵の領域を蠶食して居ります。而も今後絕對に削減を許され ┗] 天然纖維の分野に於ける人絹人繊が目覺しい伸展を遂つゝあ

ば、準戰體制下軍需工業の一部門にある斯業の役割は愈々大き

驚異的記錄を樹立し得ました事を 心から感謝致

日に日に激増する御愛用の皆様によ

全國到る處迄

川·百 群山·百 木浦·百

東一芝罘一大連一登口日國南浦三日経山三日

高 砂 丸 五月廿二日 高 砂 丸 五月廿二日 高 砂 丸 五月廿五日 三 采 来 丸 五月廿五日 (東陸守女日下後一時) [(東内背衛星)

十日陽南那十日

是一群山。水浦縣 建美日 卷山丰日

施大日登山三日

平台 仁川七日

12日鐵南浦 日

达 大阪商船縣出帆

東京火災四階 東京火災四階 京城支店。

Ŧ

光時一〇分(東)層

元祭城科の科月

弊社は皆様の日常必需品たる事に思ひを

諸原料材料等に意外な値上りを齎しまし

つた三河等の心の中には今は えなりました、個人切った心で 第音に到する しみのはスッカリ相

岩葉管松樂團

ルモンた合

致しまして 品界に於て 斯くては 然る處

限度の値上げを断行致しま 却つて製品の優良向上に障害を來た 今日迄極力善處して参りましたが

平素の御愛顧に悖ることを恐れ 何卒皆様も

尙 層の御引立御愛用の程 茲一最小 この日

偏にお願ひ申上げます むない事情を御諒承の上

昭和十二年五月十五日

て営社のMD に當社の將來性に着目、此程漸く株式の分讓を得まして、玆に新興産業称とし 江湖に推奨す **りる機を得ました事は最も欣快とする所であります。**

ず、軽金屬萬龍時代の到來は蓋し必然と云はねばなりません。弊店に於ては夙

く、その重要性は盆々加重せらるよものと思ねばなりません。之寒和戦を間は

と成つたのは當然であります。即ち鐵以上の硬度、强度を有する上に銷銭には 域に達したものと云はれるに至りました。當社製品が一躍して極金屬中の花形 求め得さる輕さと強蔑性を有して居りますから今後の需要は無限と云つても過 特殊超ヂユラルミン 日金はその性能に於て遙かに之れを凌駕し、毎門家からも理想の

を一躍九倍餘の 東邦電力松永安左工門氏に負ふ所大であり、現に大株主相談役であります。と【驚異的發展】常祉は揖斐電の仔倉社であります。常社が今日あるは一つに 吸收合併が内定されて居ります。此大擴張によつて利益率は四割内外に達し一 不撓不屈創立以來三ケ年餘の費い研究時代を継て今回從來の六十萬圓の資本金 んな關係で重役は揖燮電と東邦系で占めて居ります。此有力なる背景を持つて 言ではありまい 9充分可能と成ります。 更に第二期三期の擴張計劃が構てられて 機牲資本時代を過ぎて躍進途上にある最も發展性に富んだ新興 五百六十萬則に大哨資を取行し更に姉妹會社揖斐電金屬工業を

株式會社

45

店

申込株數單位 一株 / 額面 資 出 俄 數 収へてお薦めする所以であります。(パンプレット申込次第総量)

要 出 賣

受 渡期 日

山本源作 第一回拂込領收證ヲ以テス昭和十二年六月一日昭和十二月五月二十六日

新山縣 (多) 武田安商店 新山縣 (多) 武田安商店 藤俊二

新聞 **後中島政治郎商店** 東京市三大海県中町 / 三

十 後藤證券株式會社

名 東 名古最市

一商店

"日露磨鹿 日二州 日 漢字 | 漢字 | 医毒—涎 河上博多—長崎—三清連三日 元山三日 行一曲戶寄港 通言仁则容

明語、南韓主要歸ニ於テ船車連絡大連内地進行。日南連絡毎日載